

まどい
纏

町田市消防団第5分団第1部



発行日：2022年4月吉日

発行責任者：部長 横山 義昭

発行編集者：広報 村越 海斗



日頃より消防団活動へのご理解とご協力を頂き、心から感謝しております。



～新部長挨拶～



この度4月より町田市消防団第5分団第1部の部長に就任致しました横山でございます。

日頃から消防団活動にご理解ご協力頂きまして誠にありがとうございます。

総務省消防庁のデータを見ますと、消防団は全国に約2,300団(約88万人)あり、日本中のほぼ全ての市町村に配備されていると紹介されています。町田市消防団は、町田市を5個分団36個部に分け、団員定数660名、約40台の消防車等を配備しています。私たち第5分団第1部の詰所(器具置場)は、町田街道沿いの神奈中バス亭「中村不動入口」付近の中村町内会エリアにあります。所属定数は16人です。担当地域は、「馬場町内会」「中村町内会」で、我々もその地域内に住んでいます。ご近所の兄さん、父さんの集まりです。普段の職種はバラエティに富んでいて、多種多様な経験者の集まりです。火災の消火だけでなく、町内会の様々な行事の警戒活動や、地域防災リーダーとして日々活動しています。また、新入団員を急募しています。興味がある方は、お声をかけてください。未だに衰えない新型コロナウイルスではございますが、これからも私たち消防団は感染対策をしっかりと行った上で、この小山の町の地域防災リーダーとして、地域の皆様が毎日安心・安全に暮らせます様に、精一杯消防活動に励んでいく所存でございますので、今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

町田市消防団第5分団第1部 部長 横山義昭

～新体制紹介～

私たち消防団は1期2年を任期とし、組織編制をしております。

この4月から、新しい期となりましたので、新体制を紹介をさせていただきます。

階級	氏名	居住地区	職業
部長	横山 義昭	下馬場	バスの運転手
副部長	祖父江 健一	下馬場	建設業(施工管理技士)
筆頭班長	古林 繁典	中中村	システムエンジニア
班長	井上 敏幸	小山ヶ丘	ガス卸売業
班長	鹿山 仁史	中中村	建設業(施工管理技士)
団員	守屋 忍	中中村	自動車整備士
団員	岡本 広志	下中村	美容師
団員	村越 海斗	下馬場	自動車整備士
団員	山川 拓海	矢部	自動車整備士
団員	福島 達也	小山ヶ丘	学生
団員	千葉 勝悟	下中村	学生

随時 団員を募集しています。



～救助指導者紹介～

近年発生する災害は大きな被害をもたらすものが目立ち、我々消防団でも色々な取り組みをしております。その中でも、町田市消防団では数年前から『救助指導者養成研修』という全国の消防団でも先進的な取り組みを行っており、現在は4期まで研修が終了し40名以上が修了しております。市内各所にある部の全体に1名以上は修了者である『救助指導者』が配属されている計算となり、市内消防団全体に体制が整ってきたところであります。この研修では、消防署で専属の指導者や日頃からレスキュー活動をする特別救助隊から直接指導を受け、数多くの訓練を重ねて、救助専門の知識と技術を習得しました。この修了者は平時では指導者、有事では指揮者となり

対応します。皆さんのお住まいの地域を管轄している当部では、『救助指導者』が2名となり、町田市消防団でも有数の在籍率で、災害時には機動性の高い編成になっており、地域の皆さんには安心してもらえるよう対策をしております。これからも万が一の災害に備え、より強いチームでいられるよう取り組んで参りますので、地域の皆さまのご理解とご協力のほど、よろしくお願



祖父江副部長 鹿山班長

～分団員紹介

町田市消防団の組織編制では、大きく分けて消防団全体を統括する『団本部』、さらに地域方面を統括する『分団本部』があり、そして皆さまがお住まいの地域を管轄するため各地域に別れた『部』があり、今回ご紹介するのは、当部から昇進され堺地区方面(小山町、小山ヶ丘、相原町)地域を統括する第5分団本部に所属する鈴木智英副分団長をご紹介します。



～副分団長挨拶～

日頃より、町田市消防団の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。私の所属する第5分団本部では、6個部あり、団員定員数は104名となっており、この部隊を取りまとめる役割を担っています。私達は地域の皆様の安心・安全のため、さらに皆様から信頼され期待に沿えるよう精進してまいります。今後も皆様の変わらぬご支援と、消防団活動へのご理解・ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

町田市消防団第5分団 副分団長 鈴木 智



研修修了者は、救助指導者の称号を与えられ、その証にこのワッペンを佩用(はいよう)する。災害時には指揮者となり、救助のリーダーとして活動します。

町田市バイオエネルギーセンターの火災について

2022年2月21日に不燃ごみピットで火災が発生

2022年2月21日に町田市バイオエネルギーセンター内の一部で火災が発生しました。火災発生防止のため、発火するおそれのあるごみ(スプレー缶やガスライター、リチウムイオン電池等)を正しく分別し、適切な処理をお願いいたします。
市で処理ができないごみの品目は、ご自身で販売店等へお持ち込みいただく必要があります。適切な分別を行うことが最も効果的な予防策となります。
市の施設内では選別に努めておりますが、より一層のご協力をお願いいたします。
経過は、下記のとおりです。

- 火災発生日時
2022年2月21日(月曜日)午前7時25分頃
- 火災発生場所
町田市バイオエネルギーセンター:不燃ごみピット
- 経過
午前7時25分頃:不燃ごみピットの発煙を発見・初期消火開始
午前8時頃:消防署へ消防隊出動依頼
午前8時10分頃:消防隊到着・消火活動開始
午後3時30分:消防署から鎮火確認の連絡
- 発火原因

町田市ホームページ抜粋

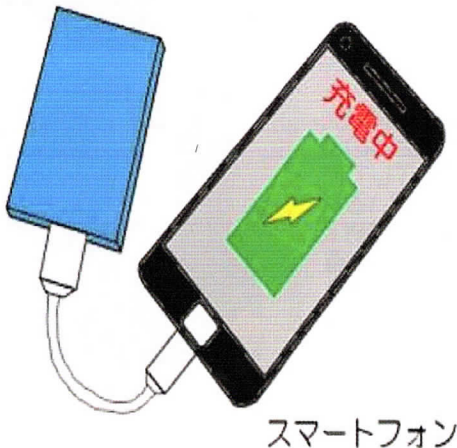


※QRコードを読むと町田市ホームページにアクセスします。

消防機関による火災原因調査が行われましたが、特定できませんでした。
推定される原因としては、発火性のあるリチウムイオン電池やカセットボンベ、ガスライター等が考えられます。
リチウムイオン電池等の小型充電式電池やモバイルバッテリーの分別をお願いいたします。

モバイルバッテリーの火災が増えています!
-使わなくなったモバイルバッテリーはリサイクルを-

モバイルバッテリー



スマートフォン

近年、スマートフォン、携帯音楽プレーヤー等を長時間利用する人が増え、充電のため、モバイルバッテリー(ポータブル蓄電装置)の利用が多くなっています。モバイルバッテリーの多くは、内部に高効率で高出力のリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池は、電解液に燃えやすい物質を使用しているため、火災になると大変危険です。

このモバイルバッテリーに起因する火災が急増しています。

(図1)

これらの火災には、使用しなくなったモバイルバッテリーを、一般ごみと一緒に捨ててしまい、ごみ清掃車内で押し潰され出火するものがあります。

消防団員募集!!

一緒に地域を守る防災リーダーとして
仲間を募集しています!!

自分たちの町は、自分たちで守る!!
守られる人から守る人になりませんか?

【お問い合わせ】

部長 横山 義昭

090-1043-8758

町田市消防団第5分団第1部



119